

# 果樹除染労賃 格差に不満も

県北地方で農家らによる農地の除染作業が進む中、一部の作業者の間には、支給額や安全面への不満が広がっている。伊達、桑折、国見の3市町では、各市町村がJA伊達みらいに作業を委託し、JAが各地域に組織した除染団体の作業者に、各市町の予算から労賃として時給1500円を支給しているが、福島市の果樹の除染作業では、倍額の時給3千円が示されたことがきっかけだ。



しぶきをかぶりながら行われている高圧洗浄機を使った果樹の除染作業＝国見町

## 福島の時給は倍額 県北3市町農家訴え

### 「難しく危険も伴う」

放射能から住民を守る会は、労賃に2倍の格差がある。同町では、参加者の今後の士気に影響が出るとして、町と町議会に、支給額を福島市と統一することを望む要望書を提出。同町での除染作業を管理する同JA国見営業センターには、労賃に関する問い合わせが相次ぎ、真冬に水を大量に使うこと

40分前後もかかる。同町では、柿の木を除染していた男性(62)は、ゴーグル未着用で作業しており「少しやるとはじいた皮と水が(ゴーグルに)張り付き、着けていないと仕事にならない」と作業の難しさを話した。

また、同JAによると、伊達市では農家らの反応が少ないこともあり値上げの考えはないなど、ばらつきがある。同JAも、労賃を統一すれば支給額が倍に膨らむこともあり、簡単に決められるものではないとしている。同守る会の八巻喜治郎代表は「農地の除染体制が整い、作業も進んで喜びはあるが、現場の作業者の危険や待遇も考えてもらえれば」と話している。

同JAは、伊達、同JAも困惑している。桑折、国見各市町と協力し、12月初旬から管内の果樹園約2200畝の本格的な除染に取り組み、危険性を痛感した背景もある。果樹の除染方法は、主に高圧洗浄機での洗い流し。桃の木は10分ほど終わるが、柿の木は洗剤の水圧で粗皮を削り取るため、はじき飛んだ皮が張り付き衣服が真っ黒になるほど激しく、寒空の下で

から、足場が凍りつき、滑って背骨を折るなどの重傷者も出たという。同JAは作業者を対象に講習会を開いているが、不慣れた他人の農地で作業することも影響し、同町では人が続出、一時作業を中断したこともあるという。

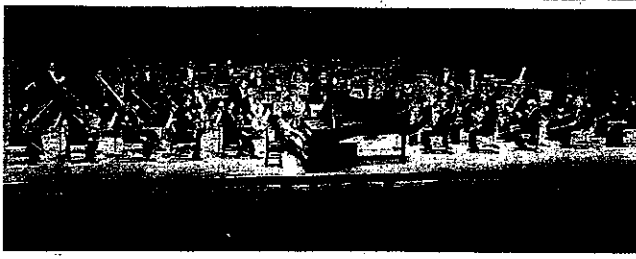
国見町は、同JAから要望があった場合には、支給額を上げる考えもあるが、伊達市では農家らの反応が少ないこともあり値上げの考えはないなど、ばらつきがある。同JAも、労賃を統一すれば支給額が倍に膨らむこともあり、簡単に決められるものではないとしている。同守る会の八巻喜治郎代表は「農地の除染体制が整い、作業も進んで喜びはあるが、現場の作業者の危険や待遇も考えてもらえれば」と話している。

来月から果樹園の除染が本格化する福島市では、農家やJA新ふくしまに実施した剪定作業労賃の聞き取りを基に、作業難度や危険度を加味して時給を設定。高所作業や水の使用を伴う高圧洗浄は3千円、手作業による粗皮削りは2500円、剪定枝の片付けは1500円となっている。

福島市 聞き取りを基に設定

作業時間は自己申告制。高圧洗浄作業を2千円ほどで、支払いは国からの交付金を使って市から委託を受けた同JAが行う。

同市は昨年、果樹園の除染に向けた「福島市・川俣町地域」と「福島市・川俣町地域」の担当者や市農業者委員会で定めている作業標準額などを基に、



東京フィルハーモニーと中村絃子さんの名演に会場が酔いしれた演奏会

## 義の決意胸に一步



本名徹次さん指揮 心の奥に響く演奏 福島でコンサート 郡山市出身の指揮者・本名徹次さん指揮による「東京フィルハーモニー交響楽

伊達市 商工会に 会広域連 11月から 月の期限 で発行し %上乘せ き共通商 10(テン 限が31日 みるとなっ

団&中村絃 福島市音楽 強いオーケ っダイナミ のピアノで 同音楽堂 本大震災慈 「心と心を」 第3弾。約

# 面的除染へ手順確認

## 伊達の保原町工業団地懇話会

伊達市と協力し、同市の保原町工業団地の面的除染を進める保原町工業団地懇話会(井上要会長)は27日、面的除染に向けた第一弾として、団地内の富士通アイソテックで除染講習会を開いた。参加者が放射線の正しい測定方法を学んだほか、富士通が開発中の、空間放射線量マップが簡易に作成できる新システムも公開され、手順を学んだ。



タブレット型パソコンで測定後の数値を撮影する新システム

## 富士通、新システム公開

同懇話会の加盟社から約30人が参加。市除染支援センターの職員の指導で、放射線測定器の使用法を学んだほか、事業所など人が出入りする代表的なところ、線量の高いホットスポットを計測する手順を確認した。

また、計測した場所で、測定器の数値をスマートフォン(多機能携帯電話)やタブレット型パソコン内蔵カメラで撮りデータセンターに送る新システムを富士通社員が説明。このシステムを利用すると、線量を測定、撮影して送る度に線量



放射線量の測定器の使い方を学ぶ参加者

## 住民から反対意見多数

### 国見町の仮置き場説明会



森江野地区の仮置き場について町と住民が意見を交わした説明会

マップが最新になり、リアルタイムで除染の効果が確認できる。

この日は実習も行われ、参加者は屋外で放射線量を測定したほか、スマートフォンなどで、測定器の数値を撮影してデータを送る手順を確認した。面的除染は、工業製品にも風評被害が出ていることから企画。団地約36棟のうち空間線量が比較的高い場所を毎時1分以下を目標して除染する。2月にも団地で、30分四方ごとに800力所測りマップを作る。

## 山木屋で火災訓練

伊達地方消防本部は27日、計画的避難区域での大規模火災発生を想定した訓練を川俣町山木屋五斗蔭地区で行い、放射線に対する安全を確保しながら住民が避難する地域での消火態勢を確認した。訓練は同地区の山林から出火、大規模な森林火災に拡大したという想定で隊員25人が参加した。火災を発見した通行人からの通報を受け、同消防本部が各分署や関係機関に連絡。近隣消防本部への応援要請を行い、駆け付けた各隊がポン



避難区域の訓練を行われ

説明会には、町の町内会長ら加。町からは町長や担当職員の除染アドバイザー福島島大が出席した。説明会では、中間貯蔵施設していること

社は読者のためにある  
関心を  
一教室  
味深く耳を傾けていた。  
感性光る写真並ぶ

書  
安達地方の小学校特別支援学級の児童による作品展が27日、二本松市の市民交流センターで開幕した。安達地方の力作  
どの授業で取約180点が出品  
色彩鮮やかな絵  
書道作品のほ